

鶴見川出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
鶴見・新横浜出張所発行
(代表) 鶴見出張所
電話045-501-3038
2014年1月10日【号外08号】

3. 11東北地方太平洋沖地震で鶴見川にも津波が遡上しました 過去の津波から防災・減災について考えてみましょう

平成23年3月11日14時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。この地震により宮城県栗原市で震度7、宮城県、福島県、茨城県、栃木県で震度6強など、広い範囲で強い揺れが観測されました。また、この地震に伴い、同日14時49分に「大津波警報」が発令され、東京湾内湾、相模湾・三浦半島にも大津波警報等が発令されました。

気象庁の発表では、横浜の第一波16時9分+0.8m、最大波17時37分+1.6mとなっています。この鶴見川でも津波が遡上し、下の写真のように大きな波となっています。(写真は、[npoTRネット提供](#)によるもの)

今回は、神奈川県と横浜市で公表している資料から、津波について考えて頂くためにまとめたものです。



——東急東横線上流の綱島駅側から平成23年3月11日17時55分撮影したもの——

発生年	地震名	想定震源域	マグニチュード	津波痕跡高の有無	主な文献
1498	明応地震	南海トラフ	8.2~8.4	○	日本被害津波総覧【第2版】
1605	慶長地震	南海トラフ	7.9	○	東北大学データベース
1633	寛永地震	相模湾断層	7クラス	-	-
1677	延宝地震	日本海溝	8.0	-	-
1703	元禄地震	相模トラフ	7.9~8.2	○	東北大学データベース
1707	宝永地震	南海トラフ	8.4	-	-
1782	天明地震	相模湾断層	7.2	-	-
1853	嘉永地震	相模湾断層	6.7	-	-
1854	安政東海地震	南海トラフ	8.4	○	東北大学データベース
1923	大正関東地震	相模トラフ	7.9~8.2	○	東北大学データベース
1946	南海地震	南海トラフ	8.0	○	東北大学データベース
1980	テリ地震	遠地地震	9.5	○	東北大学データベース
2011	東北地方太平洋沖地震	日本海溝	9.0	○	土木学会調査

(出展：第7回津波浸水想定検討部会資料)

神奈川県では、平成24年3月30日に新たな「津波浸水予測図」を公表しています。検討を行った「津波浸水想定検討部会」では、神奈川県で発生した過去の歴史津波について触れられています。

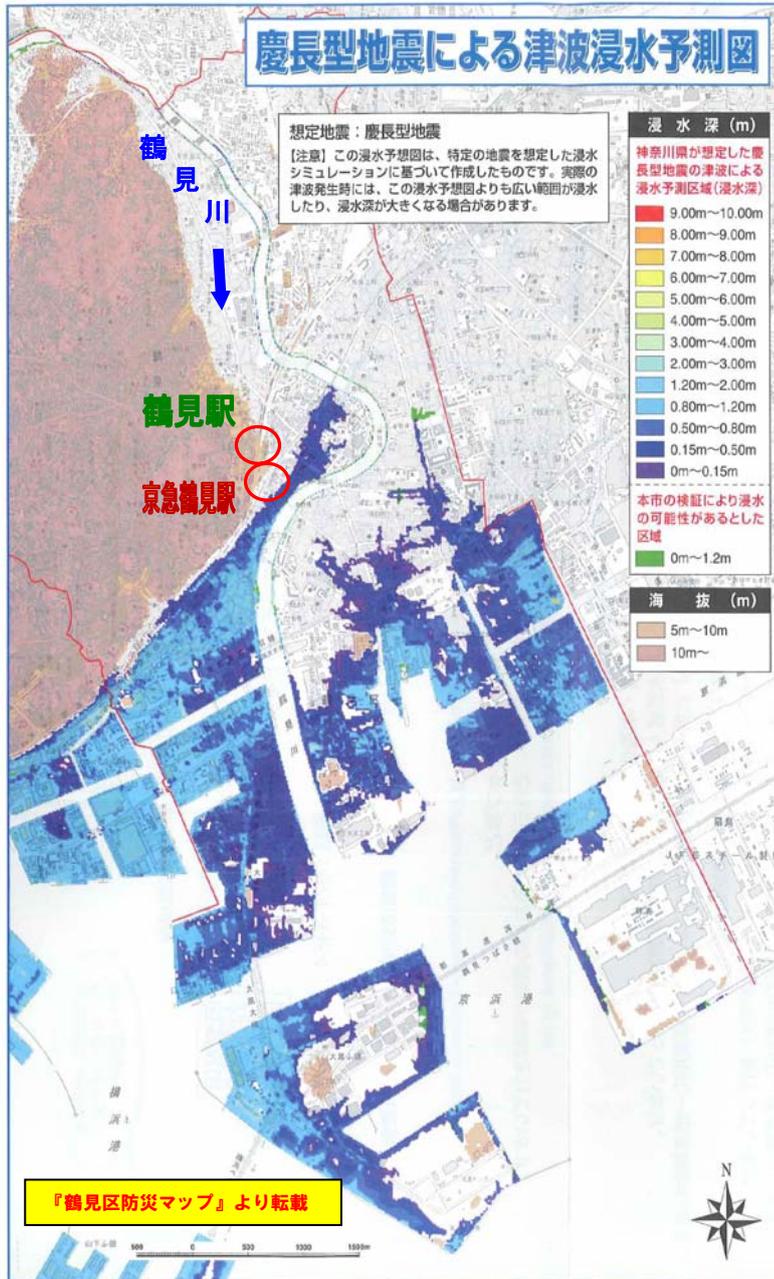
過去を知ること、河川利用者や沿川にお住まいの方に役立てればとまとめてみました。

左表は、神奈川県に関係があった地震名と津波の記録について一覧表にまとめたものです。詳しくは神奈川県のHPをご覧ください。

(神奈川県津波浸水想定検討部会HP)

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f300010/>

鶴見川沿いの『津波浸水予測図』が公表されています



津波への備え

津波の事前対策

避難できる場所を確認

- ◆自宅や職場などのまわりで、避難に適した高台や建物の位置を把握しておきましょう。
- ◆避難に必要な時間をあらかじめ調べておきましょう。

津波への対応方法

地震発生 とにかく避難!

- ◆大きな揺れを感じたり、また揺れていなくても津波警報を聞いたら素早く避難します。
- ・災害時は情報が迅速に伝わらない可能性もあります。警報や避難勧告などが出されない場合でも、避難行動をとる心構えが重要です。
- ◆より高いところへ!
 ・高台、または頑丈な建物(鉄筋コンクリート造など)の高い階へ避難しましょう。
- ◆津波は二度、三度と押し寄せる可能性があるため、警報が解除されるまでは海岸に近づかない。
- ◆川をさかのぼって内陸にも到達する可能性があります。

津波に関する情報

◆「津波からの避難に関するガイドライン」
 横浜市のホームページからご覧いただけます。

横浜市 津波避難ガイドライン

◆避難勧告、避難指示
 横浜市では、津波警報が出た場合は避難勧告、大津波警報が出た場合は避難指示を原則的に発令することになっています。

避難区分	津波予報の種別	予想される津波の高さ
避難勧告	津波警報	1m、2m、3m 高い
避難指示	大津波警報	5m、10m、10m超 巨大

津波避難(鶴見区)は海拔5m以上の高台、鉄筋コンクリート造りなどの建物へ



横浜市で配布している『わが家の地震対策』(鶴見区版)や『鶴見区防災ガイド』では、『津波からの避難のポイントとは?』と津波からの避難を呼びかけています。

- ◆避難するときは、**海拔5m以上の高台、鉄筋コンクリート造り等**、かつ地震の揺れによる被害のない建物で3階以上を避難の高さの目安にしましょう。
- ◆**車を使わずに避難**しましょう。
- ◆津波から避難するためには、**今自分がいる場所がどのくらいの高さであるか**知っておくことが必要です。
 (鶴見川下流部では、海拔表示を行っていきます)

津波避難施設や避難ガイドライン (横浜市)
<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/keikaku/tsunami/>

